



マイナ保険証における過去の薬剤情報等の同意促進、 薬剤情報や特定健診情報等の閲覧等における心療内科・内科での取り組み！

POINT①:患者へ薬剤情報等の提供に同意いただくメリットを案内し、薬剤情報等を確認

POINT②:重複投薬等アラート発生時、その弊害や人体に及ぼすリスクを丁寧に説明することで、併用禁忌の防止や処方量を調整



【参考】新小平クリニック（東京都）

過去の薬剤情報等の提供への同意を促進するための工夫ポイント

- ✓ 情報提供の同意にデメリットはなく、医療機関は過去の薬剤情報や特定健診情報等の閲覧を行い、重複投薬等チェックを実施することで、安全な医療を提供できるというメリットが大きいことを患者へ説明をしている。
- ✓ 受付時に患者が薬剤情報等の提供に同意したことによるメリットを実感いただくために、重複投薬等の恐れがある患者に対しては**重複投薬等の弊害や危険性等について、診察時に医師が科学的な裏付けも併せて分かりやすく簡潔に説明**を行う。

薬剤情報閲覧や重複投薬等チェックによる医薬品適正化事例や取り組み

① 重複投薬等チェック

【ケース①】重複投薬等チェックにより併用禁忌を防止



うつ病の治療目的でクエチアピン錠を処方しようとしたところ、**重複投薬等チェックを実施したところアラートが発生し、お薬手帳を確認した結果、他院で併用禁忌である糖尿病薬の処方を確認ができたため、クロルプロマジン錠に処方を変更した。**

【ケース②】重複投薬等チェックにより処方量を調整



薬剤情報等の提供を同意していない患者で重複投薬等チェックを実施したところ、アラートを検知した。処方予定であるフルニトラゼパム錠は許容量を超えて服用すると日中の眠気の遷延、集中力の低下などが起こるため、その危険性を丁寧に説明し、同意を得たうえで、過去の薬剤情報を確認し、処方日数を制限した。

② 過去の薬剤情報の閲覧

【ケース③】薬剤情報閲覧により併用禁忌を防止



スポレキサント錠を処方しようとしたところ、薬剤情報から、**他院の耳鼻科でクラリスロマイシン錠が処方されていることを確認したため、エスゾピクロンに処方内容を変更した。**

③ 特定健診情報の閲覧

【ケース④】特定健診情報の検査値を閲覧した結果を踏まえて、処方量を調整



他院で特定健診を受診したと聞き取ったため、**特定健診情報を閲覧したところ、eGFRの検査値が、当院で過去に測定した数値より低下していることが判明し、血糖コントロールも良好であったため、メトホルミンを減薬した。**

④ コメント機能の活用

【ケース⑤】コメント機能を活用して、薬局へ患者情報を共有



患者が行く予定の薬局へ、重複投薬等が確認できた患者の情報をできる限り架電し説明するとともに、**電子処方箋のコメント機能を活用し薬局へ注意喚起を促している。**